

目標達成計画

事業所名：グループホーム 太陽

作成日：令和 3年 2月 15日

市町村受理日：令和 3年 2月 16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	1	「太陽のケア理念」に関してもっと理解しそれに沿った実践に改善の余地がある。また地域密着型サービスの意義を考えていく必要がある。	「太陽のケアの理念」ではなく、地域の中でのグループホームの在り方を念頭に取り入れ、新たな「太陽の理念」を作っていく。	①理念に関する検討委員会を立ち上げ、見直し検討を行い全体に報告する。 ②毎月の全体会議にて報告の上、全職員で話し合いを行っていく。 ③6月の全体会議にて、案を集約して新しい理念を決定する。	4か月
2	4	運営推進会議において介護や地域との関わり合いなどの話し合いが不十分であった。地域住民等の参加者が少ない。	運営推進会議の活性化を図るため、参加メンバーの拡大を図る。 また、議事録などの公表も行っていく。	①町内会との接触を強め、町内会他役員や地域の有識者などの参加を依頼していく。 ②近隣町内の民生委員や福祉関連の有識者の参加を依頼していく。 ③一般住民の参加が可能になるよう対応していく。	9か月
3	35	火災、避難訓練以外において、事業所周辺の危険度に対する認識が不十分であった。	火災のみならず、水害、台風、噴火等の災害時の対応をマニュアルを作成し訓練も行っていく。	①事業所の危険度の確認。 ②対応と避難方法、場所の確保(公的施設を含めて) ③災害対応のシミュレーションと訓練を行う。	6か月
4	23 36 37 49	一人ひとりの思いや要望を実現するという面において十分とは言えず、またご家族等の参画も十分とはいえない。	多様な日常生活がおくれ、ご家族等の参加が出来る事。	①年間の行事や日常の趣味活動、生活自体に関して一人ひとりの要望や思いを確認していく。 ②運営推進会議や担当者会議などで取り組みや内容に関してのアドバイスをいただくようにする。 ③いろいろな行事や日常生活においてご家族が入居者とともに参加できる場面をつくっていく。	1年
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。